

3.11を経験した日本は発想の転換を求められているのではないか

福岡県糸島市議会議員 笹栗純夫

昨年の2月17日(木)に栗原博士の事務所を訪れてから早や1年が経過した。土木工学の知識が全くない私に、懇切・丁寧にご指摘いただき今日まで続いている。

東京で3回、九州福岡で2回直接お目にかかり贅沢なほど、個人教授を賜った。1年2か月の期間で、メールをいただいた回数が65通、そのうち45通のメールに栗原博士の技術資料を添付下さっている。このご恩に如何に報いるかを考えた。すなわち、崇高なる技術を私一人が、独り占めしてはいけないと思った。せめて、私にできることは、公明党のネットワークを活用し、一人でも多くの国会議員、地方議員に紹介して理解して戴こうと心に決めた。

幸いなことに我が党は全議員が自由に発言できる「意見交換ひろば」というインターネットを有しており、そこから発信を始めた。最初に賛同戴いたのは、東京都日野市議会の峯岸弘行議員である。とにかく行動が早い。今年に入って2月5日に「災害を克服するフォレストベンチ工法」研修会を例のインターネットで情報発信をされ、ご自宅を開放し栗原博士を呼んで研修会をご開催戴いた。峯岸議員の呼びかけに、当日(2月11日)は2時間自家用車運転し駆けつけて戴いた北茨城市的蛭田千香子議員や斜面地の多い、あきる野市の増崎俊宏議員が参加され、しっかりとご理解を戴いたとの報告を受けた。

千葉県香取市議会の小野勝正議員から「河川等の堤防にも防災効果を知りたい」とお尋ねに対し栗原博士に連絡すると、翌日には回答されるスピードには、もつとも信頼している仲間として心より敬服した。同じく、2月16日は雪崩対策としての「フォレストベンチ工法」の効用について栗原博士の論文を紹介し、3,000名を擁する公明議員

にフォレストベンチ工法の周知が一気に広がった。

3月22日 栗原博士より「3月28日 森田実先生を交えて、フォレストベンチの現場を見学する会のご案内」を戴き、今度は私からインターネットで発信、峯岸議員をはじめ、沖縄の議員団4名、長野県からも2名、茨城県取手市議団4名など20名を超える公明関係者が参加することができ、視察場所をご提供戴いた内藤環境管理(株)の内藤稔社長のご厚意に熱く感謝申し上げる。

昨年の12月26日(月)神奈川県足柄下郡真鶴町で「第一回フォレストベンチ現地講習会と森田実先生のご講話」が開催された。その講演録「日本の課題とフォレストベンチ工法の画期的意義」を栗原博士、森田先生のご許可を戴き、4月1日にインターネット上に公開させて戴いた。こちらも大きな反響を呼んでいる。

4月11日、栗原博士から「北九州市の講習会が5月9日14時から2時間と決まりました。翌日、糸島市で開催できれば嬉しく思います。」との連絡を戴きました。

早速5月10日、糸島市役所で「フォレストベンチ講習会」開催を決定し、すぐさまインターネットで周知した。すでに数名の公明議員の参加予約が届いている。

日野市の峯岸議員と私が中心となって、主体的にフォレストベンチ工法の周知を行ってきた。その結果、全国の議会で一般質問や常任委員会で提案されている議会が増えてきた。嬉しい限りである。糸島市は平成24年度から継続事業も含め、法面工事が3件予定されている。

3月議会で、「今議会に提案された2公園の法面工事の事業費をみると、財源は一般財源すなわち市費100%の事業である。1つの公園は土砂災害特別警戒区域に指定されている。福岡県が土砂災害特別警戒区域に指定しているが、工法についても、金は出さないが、注文は付けると聞いている。国土交通省や県が指定した工法で事業を進めようと思っているのか」と執行部に迫った。「現在、方針を決めているには緑化工法を採用することだけ、方針を決めている。ご指摘の主旨を県にも理解していただくよう、最大の努力することをお約束する」との答弁を引き出した。

驚いたことに、もう1件の都市計画決定に基づく道路整備事業においても、法面工事が発生する。その工事を所管する課長が「本工事においても法面工事が出て参ります。景観に配慮したフォレストベンチ工法もその一つであろうかと考えます」と関連答弁をして戴いた。その課長さんは早期退職でお辞めになられたが、次の課長にも引き継がれたとのこと。

5月10日に栗原博士から直接説明を受けて戴き、認識を新たにして戴きたいと願うものである。3.11を経験した日本は発想の転換を求められている。従来工法の考えを脱皮しなければならない。

栗原先生が手掛けられた貴重な実績が、石山寺、畠山邸、真鶴と燐然と輝いている。堂々たる現証であると断言できる。それにしても、森田実先生は、栗原先生が提供された資料をうまく活用して専門家以外の庶民でも理解できるように語り、メッセージを発信されている。

今回のテーマは全て、糸島が元気に、糸島発展こそが、日本の活力との思いで質問しました。これからも不屈の挑戦者でありたいと決意し、一般質問を終わります。」と締めくくった。今後も、微力ではあるが、全力で栗原博士を支援することをお誓いする。稀有の天才、栗原博士のご健康とご活躍を祈っている。



土砂崩落が心配される加布里公園の法面